

2012/8/19

環境チームリーダー 藤原篤

## 第52回 環境チーム会議 議事録

日時：8月19日（日）9時30分～11時40分

場所：境谷会館

出席：岩倉、久世、長澤、長瀬、平井、福富、藤原

1. 前回議事録確認を行った。

- ・通り愛称は、「現在の通称と併記することが好ましい」と、確認・修正された。
- ・現在の通り名が、「正式名称」ではなく「通称」であることが資料により確認された。
- ・重要案件は、多数決で決めることを確認した。

2. ごみゼロまちづくりと落ち葉のたい肥化

「洛西ニュータウンごみゼロ宣言」は、以下の文言とする。

### 洛西ニュータウンごみゼロ宣言

私たちは、京都市市民憲章を守り、京都市まちの美化推進住民協定を活用し、さまざまな活動をとおして、ポイ捨てごみのないクリーンなまちをめざします。

新林自治連合会 会長  
境谷自治連合会 会長  
竹の里自治連合会 会長  
福西自治連合会 会長  
洛西ニュータウン創生推進委員会 委員長

1) 全体のスキーム（協力体制とスケジュール）は、以下のとおりとする。

・8月中：

「ゴミゼロ宣言」を全体会議で承認（8/20）

申請の可否決定

・9月～10の活動：

市（緑政課、北部みどり管理事務所）と連携して、公園愛護協力会、街路樹サポーター

等と打ち合わせ会を開催する。曜日は金曜日第一希望とする。

そのため、はじめに緑政課、北部みどり管理事務所と下打ち合わせを行う。(案内書を作成し支所を通じて送付する)

・ 1 1月の活動：

自治会、美化活動の各グループ、学校、市民園芸家などを招いて「まちあるき+勉強会」を行う。実施日は、「楽祭 in らくさい」の日程と合わせる。第一候補は11月25日(日)とする。

「まちあるき+勉強会」において、「ごみゼロ宣言」、「緑のガイドライン」とあわせ「落ち葉のたい肥化活動」の説明を行う。行政費用削減(資料準備)、エコ活動、まちの魅力発信と連携することを知ってもらう。

・ 1 2月以降の活動：

詳しい活動は、申請の可否を待って、次回環境チーム会議で検討する。

3) スtockポイントの設置について

- ・ 福富さんが富阪さんと打ち合わせの結果、中央緑地をStockポイントとして利用することは問題なしとのこと。

4) たい肥活用ルートについて

- ・ 今後、まちボタンや各自治連での回覧など各種メディアを通じて、たい肥活用者を募集する。
- ・ 風致課、グリーンセンターの連携も検討する。

3. 緑のガイドライン

1) 全体会議8/20での(案)の承認

2) 自治連との連携

- ・ 「まちあるき+勉強会」で「ゴミゼロ宣言」や、「落ち葉の堆肥化活動」と連携する。
- ・ 出前説明会を実施する。

3) 行政との連携

- ・ 落ち葉の堆肥化活動を通して緑政課、北部みどり管理事務所と連携する。
- ・ 洛西支所(課長、室長、担当区長)と連携する。

4. わかりやすく親しみのある通りの愛称づくり

1) 目的を、以下の3つに整理した。

- ・ 「通りの愛称」により、まちの財産を知り、誇りを持ち、みんなで大切にしよう。
- ・ 通りの特徴をあらわした「通りの愛称」により、わかりやすい通り名にしよう。
- ・ 「通りの愛称」を通して、洛西の魅力を発信し、その人にも洛西のすばらしさを知って

もらおう。

2) 対象路線のしぼり込みなど

- ・アンケート調査を実施し、対象路線を絞り込む。11月に開催予定の「まちあるき+勉強会」で実際に歩いて回ったもらい、あわせて対象路線候補のアンケートを行う。
- ・その後、沿道自治連（会長）の意見聞き取りなどを行う。

3) インターネットにより抽出し調べた上位24都市における「通り愛称づくり」の目的は、

1位：通りへの愛着、親しみ、愛護精神（21/24）

2位：わかりやすさ、利便性（14/24）

3位：活性化、まちづくり推進、連帯性、もてなし（8/24）

であった。その他、通りへの関心等（7/24）、まちのシンボル等（2/24）があった。

9月の環境チーム会議は、以下の通りとする。

日時：9月16日（日）9：30～11：30

場所：境谷会館管理室